

グローバルにいがた

国際交流拠点から

from NY



山賀 正輝さん

＝柏崎市出身＝

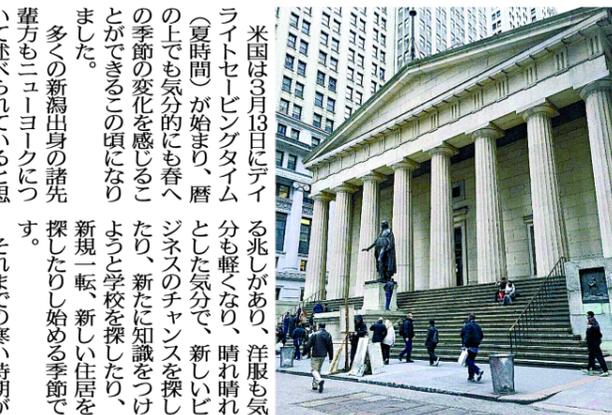
春の兆し 気分も軽く

米国は3月13日にデイライトセービングタイム(夏時間)が始まり、暦の上でも気分的にも春への季節の変化を感じる事ができるこの頃になりました。

多くの新潟出身の諸先輩方もニューヨークについて述べられていると思いますが、私が思うニューヨークの人たちについてお伝えできればと思います。こうしてみると、故郷新潟との共通点が多いことに気が付きました。

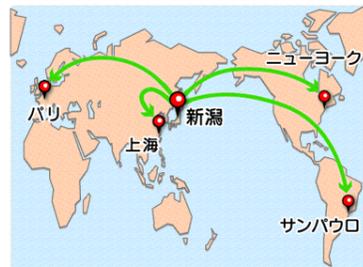
アメリカという車社会で、どこへ行くにも車でという印象があります。が、このニューヨークではサブウェイ(地下鉄)を使っての移動が中心となります。サブウェイはラッシュの生活が季節の動きを敏感に感じさせ、気持ちの変化を生み出します。

ファッションもそうでしょう。ジャケットからTシャツに変わり、薄手のコートから厚手のコートに変わっていく様子も、気持ちの変化を与えます。その年ごとに違う流行もあるのに、それに合わせて着るのことも、感じること、そして、これからの春に向けて、この季節感があるニューヨークが好きで、これからの春に向けて、この季節感があるニューヨークが好きで、これからの春に向けて、この季節感があるニューヨークが好きで、



ニューヨークの観光名所の一つ「フェデラル・ホール」

新潟日報社が開設した米ニューヨーク(NY)、ブラジル・サンパウロ、中国・上海、欧州(パリ)の国際交流拠点などを通じ、海外で暮らす本県関係者から現地の様子をレポートしてもらい、毎月第1日曜日に紹介しています。また、新潟日報ホームページ「モア」にも掲載し、感想や意見を受け付けています。



第1日曜掲載

from 大連



宮下 哲夫さん

＝上越市出身＝

「氷祭り」で極寒体験



厚い氷が張った真冬の松花江「ハルビン市」

冬の時季は日本人の観光客が非常に少なくありません。寒さを敬遠されるのかもしれませんが、雪の新潟を見に来るという思いで、一度来ていただきたい気持ちです。

吉林省にも日本のスキーリゾート会社が進出しています。パウダースノーで非常に良いスキー場と知人に聞きました。東北三省は冬の観光客誘致を目標に、温泉施設も含めて大々的にPRしており、新潟と共通点も感じました。

2013年7月から中国遼寧省大連に赴任し、各地を回っています。大連も冬の寒さから抜け出し、春の兆しが表れてきました。東北三省の春は、雪解けてはなな川の氷が溶けた様子で春が近づいて来ることを感じます。

新潟では桜が咲き始めると「春だなあ」と感じますが、大連はソメイヨシノが無く、4月中旬に牡丹桜が咲き始めると春らしさが出てきます。

冬の東北三省はともなう厳しい寒さですが、中国東北人の方は新潟県人と同様に温情があり、寒さに負けず冬も頑張る活動がされています。1月の大連はマイナス10度、長春はマイナス20度、ハルビンがマイナス30度と、北に行くほど寒くなりますが、室内は集中暖房が入っていて20度前後で過ごしやすく、快適に生活できます。

1月中旬にハルビンに行き、冬の名物「ハルビン氷祭り」を夜見学して来ました。非常に大規模に行われていましたが、あまりの寒さに耐えきれず、40分しか現地に立つていられた状況で、極寒の経験をしてきました。満州国時代に、日本人の開拓団が多くこの地域に出向き、厳しい寒さに耐えながら開拓されたことを思うと、非常に苦しい思いがします。

新潟の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。ことしのブラジルの夏はエルニニョ現象もあって厳しい暑さに見舞われました。わが家に初孫が誕生して2年近くになりますが、この上なくうれいニュースでした。息子夫婦は初めての子育てで元氣(やんちゃ)な男の子に翻弄され、「子どもは1人で十分」と首を上げながらも成長を楽しんでいるようです。昨年には孫の日本人登録の手続きが済み、パスポートが届きました。これで孫と一緒に日本訪問ができる」と家族一同、喜んでいきます。



高橋さんの息子夫婦と孫。子育ての仕方は日本とはかなり異なる

from ブラジル



高橋 久夫さん

＝上越市出身＝

子育てにも国柄反映

お母さんに説教された孫ですが、その後、泣きながら「おめ、おめ、おめ」といって、お父さんの頬にキスをしてくれました。めでたし。見ている私たち夫婦も胸をなで下ろしました。

(高橋さんは1944年生まれ、国立宇宙科学研究所で働いています)

この間、新潟市に住む私の母とインターネットを使って初めて「対面」孫が片言のポルトガル語で「コンニチハ」と言ったのはびっくりしました。私の母は大喜び。もう日本が「地球の反対側」という意識はなくなりつつあります。

息子夫婦の子育ては、時代の変化を差し引いても日本とはかなり違います。この前、孫がはたらきながら面白くお母さんが「やめなさい」と言っても聞きません。お母さんは「お母さん、お母さん」と注意する理由をきちんと説明し、子どもに納得させるのです。そして「あなたも間違っているのだから、お父さんにもお母さんにも言えない」と小さい頃から「自ら考え、自ら意思決定と行動をする」ことが求められるのです。面倒ですが、子どもを一人として扱う姿勢がうかがえます。ブラジルの国語の教科書はタイトルが「コミュニケーション」とエクスペリエンスです。その教科書の目的は、言葉は自己表現の道具として大切なもの、個人がしっかりと意見をもち、それを表現する能力を培うことにあるようです。

年間使用料を支払い、それぞれ好みの作物を育てます。私のプロットはグリーンハウス付きの約200平方メートル、使用料は年間5000円(7500円)ほどです。水の使用は自由。トラックで運び込まれる腐葉土、堆肥、木くずも各自、自由に手押し車でプロットまで運びます。英国の懐の深さと高い税金の還元を感じられる瞬間です。

水が不要で堆肥が取り出せるバイオトイレ、土を高くして身体が不自由な方々やお年寄りが無理のない姿勢で園芸を楽しめるプロットも整備されています。

地域コミュニティの色彩も強く、プラントセールやバーベキューなど、さまざまなイベントが催され、プロット同士との交流を楽しむことができます。故郷への郷愁から自国の野菜作りを励む外国人も多く(私もその一人)、さまざまな原産地の苗や作物を交換できるのも醍醐味です。自家製みそを造るフランス人や北海道がほやちの苗を分けてくれたインド人もいて、日本食材のグローバル化を感じられます。

昨年は初心者ながらもミニトマト、ピーマン、大根、こぼろなど幅広く育てました。今年も新潟特産「湯あがり娘」(枝豆)の収穫を今から心待ちにしています。

種の持ち込みは、ジャガイモを除き、渡航者1人につき小売用5袋まで許可されています。英国在住の日本人にはとても喜ばれるお土産かもしれませんね。

(内柴さんはロンドン在住で翻訳業をしています)

from ロンドン



内柴 晴子さん

＝新潟市中央区出身＝

家庭菜園の季節到来



内柴さんがレタスやキュウリ、ピーマンなどの野菜作りを楽しんでいるプロットメント

暖冬ながらも冬と春を何度も往復した感のある不思議な天候のロンドンでしたが、日差しが優しく、本格的な春の到来を感じられるようになりました。プロットメントシーズンの到来です。

プロットメントとは、散歩道の至る所に存在する家庭菜園で、ガーデニング好きのイギリス人には人気が高く、都市部では3年待ちも珍しくないとか。土に触れることが大好きな私は、菜園を持つことが長年の夢でしたが、昨年ようやくプロット(各個人の菜園)割り当ての順番が回ってきました。

雪国・新潟の厳しい冬の凍害でもひび割れず、潮風や酸性雨、長時間水に濡れても錆や腐食などはありません。新潟県の住宅に最適です。

ぜひ一度 お問い合わせください!見積もり相談無料!!

0800-111-8753

詳しくはWebへ。ジュシアス 検索

〒955-0092 新潟県三条市須賀1-28-3F TEL.0256-36-8111 Email:info@isoqar.co.jp

工事したその日から30年間塗装不要!!

30年保証の外壁リフォーム

樹脂外壁ジュシアス 30年製品保証

雪国・新潟の厳しい冬の凍害でもひび割れず、潮風や酸性雨、長時間水に濡れても錆や腐食などはありません。新潟県の住宅に最適です。

一度リフォームすれば30年以上はメンテナンス不要です。他の外壁に比べて最大358万円のランニングコストの差がでます。

詳しくはWebへ。ジュシアス 検索

ぜひ一度 お問い合わせください!見積もり相談無料!!

0800-111-8753

詳しくはHPへ: <http://www.isoqar.co.jp>

ISO9001:2015 規格解釈セミナー

ISO14001:2015 規格解釈セミナー

改訂された規格の詳しい説明を行います。

4月21日(木) 新潟市 新潟テルサ

4月22日(金) 新潟市 新潟テルサ

4月28日(木) 三条市 ISOQAR研修室

6月29日(水) 三条市 ISOQAR研修室

6月28日(火) 三条市 ISOQAR研修室

ISO 9001

ISO 14001

ISOQARジャパン株式会社 (担当:中山)

〒955-0092 新潟県三条市須賀1-28-3F TEL.0256-36-8111 Email:info@isoqar.co.jp

詳しくはHPへ: <http://www.isoqar.co.jp> Top Training セミナー案内 アクセス